

〔重点的な取組み〕

世界水準の都市ブランドの確立

() 世界に誇れる都市空間の創造

【取組みの方向性】

人・モノ・情報・投資を呼び込める魅力を備えた都市空間の創造をめざし、大阪の顔となるまちづくりなどに取り組む。また、府内市町村や近隣府県も含めた広域的な視点に立って都市空間の創造に取り組む。

リニア中央新幹線や北陸新幹線の早期全線開業を促進し、広域的なネットワークによる連携の強化をめざす。

関西国際空港の国際拠点空港としての機能強化を図るとともに、国際コンテナ戦略港湾阪神港の強化・利便性向上をめざす。

交通ネットワークの充実・強化に向けた高速道路・鉄道網の整備を進めるとともに、高速道路の戦略的かつシームレスな料金体系の実現や、乗継改善などによる公共交通の利便性向上等に取り組む。

取組み例

うめきた2期など都心部エリアの新たなまちづくり

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点を目標とする「うめきた2期区域」をはじめ、中之島やベイエリア等の大阪都心部エリアにおいて、新たなまちづくりに取り組む。

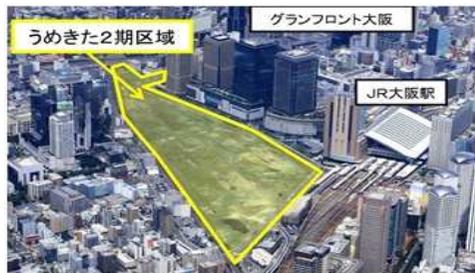
【うめきた2期】

大阪の顔、関西のハブとなる

「みどりとイノベーションの融合拠点」

2023年 一部まちびらき

2027年 全体まちびらき



【中之島】

国際的なビジネス・文化・学術・交流拠点としての機能向上形成

- ・新美術館の整備
- ・産学・社会学連携拠点の形成（中之島アゴラ）
- ・再生医療国際拠点の導入
- ・都市型MICE機能



【ベイエリア】

成長戦略拠点として、さらなる民間開発事業を促進

- ・産業・物流機能や環境・エネルギー分野、集客施設等の集積促進
- ・夢洲におけるIRを含む国際観光拠点の形成



取組み例

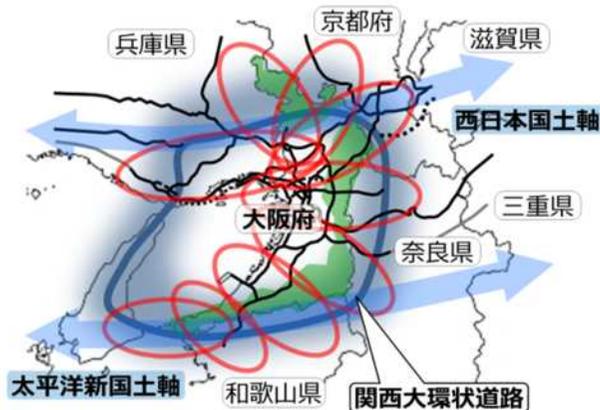
広域的な視点による都市空間の創造

大阪が東西二極の一極として大きく発展していくため、2016年12月に策定した「グランドデザイン・大阪都市圏」において示した「広域連携型都市構造」の考え方にに基づき、地域資源を最大限に活かし、広域的な視点で都市間連携を進めることで、魅力的な都市空間を創造する。

【広域連携型都市構造】

関西全体を視野に、概ね関西大環状道路の範囲内を大阪都市圏として、以下の視点で、道路・鉄道・河川等広域インフラを活かして、都市構造を大胆にとらえなおす。

都市の活力の源である「人」の活動を中心
多様な機能が集積する強みを活かし、都市間連携を強化
山や川、海などの地形的要素や、行政区域にとらわれない広域的な視点で、大胆に土地利用を転換



「広域連携型都市構造」を踏まえた都市空間創造の方向性

～ 地域資源を最大限に活かす ～

【産業の集積】様々な産業の集積化とネットワーク形成により、一層成長・発展する都市空間を創造

【学術・研究の集積】さらなる知的創造活動を生み、支える都市空間を創造

【集客機能の集積】国内外から多くの人々が訪れる圧倒的な魅力を備えた都市空間を創造

【豊かな自然環境】豊かなみどりや水辺をさらに楽しめる都市空間を創造

【歴史・文化の集積】他にない豊かな歴史・文化を身近に感じられる都市空間を創造

【良好な居住環境】ライフデザインに応じた多様な居住環境が実現できる都市空間を創造

リニア中央新幹線、北陸新幹線の早期全線開業の促進

東西の大都市圏を結ぶ広域交通インフラの複数ルートを確認し、その効果を西へ波及させるため、関係団体と連携して、リニア中央新幹線や北陸新幹線の大阪までの早期全線開業を促進する。

国際空港機能の強化

空港運営事業者としては、適切な投資と効率的な運営により、国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、その可能性を最大限に引き出すことをめざす。

空港運営事業者の自律性・自由度を尊重しつつ、国際拠点空港としての機能強化を図るとともに、関空を通じた地域の発展をめざす。

大阪湾諸港の国際競争力強化

阪神港では、国際コンテナ戦略港湾として、国、大阪市、神戸市、阪神国際港湾株式会社が連携して、集貨、創貨、船舶の大型化に対応した施設整備などの競争力強化に取り組む。

将来の大阪湾諸港の港湾管理一元化に向けた取組みを進める。

交通ネットワークの充実・強化

活力・成長を支えるため、物流の効率化や広域連携の強化に資する大阪都市再生環状道路や府県間道路などの道路ネットワークの構築を進めるとともに、戦略4路線など人流を支える鉄道ネットワークの充実を図る。

【主な路線】

国土軸アクセス(新名神・第二京阪アクセス)の更なる強化
千里丘寝屋川線・寝屋川大東線(H28年度事業着手)など
府県間の更なる連携強化
国道371号(H30年代半ば供用)、大阪河内長野線 など
JRおおさか東線の開業による新大阪駅へのアクセス強化 (H30年度)
うめきた新駅開業(H34年度末)

既存ストックの活用、利用者の視点といった観点から、高速道路の混雑状況に応じた料金設定などの戦略的な料金体系の実現、可動式ホーム柵設置等による安全確保や乗継時の移動負担軽減などの公共交通の利便性向上に取り組む。

取組みの工程（主なもの）

（数字は年度）



() 世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市の確立

【取組みの方向性】

都市魅力の発展・進化・発信や、観光客受入環境の充実により、観光拠点としての機能強化を図るとともに、インバウンド客を関西のみならず国内各地へつなぐ「観光」ハブとしての機能を高める。

MICE機能や国際的なエンターテインメント機能等を備えた統合型リゾート（IR）の誘致など、国際観光拠点の形成を促進する。

大阪が誇る文化や歴史、伝統芸能、スポーツ、芸術、食などの都市魅力を最大限活用し、国内外にアピールするとともに、大阪の都市魅力創造の好循環につながるよう取組みを進める。

こうした文化・観光基盤を背景に、万博やIRのインパクトも活かしながら、大阪・関西において情報が生まれるとともに、広く情報が集まり、全国・世界へ発信する機能強化を図る。

取組み例

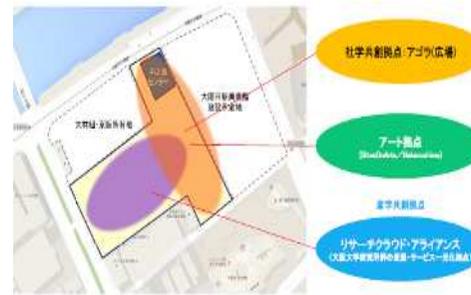
夢洲でのIRを含む国際観光拠点の形成

MICE機能や国際的なエンターテインメント機能等を備えた統合型リゾート（IR）の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、経済界とともに「夢洲まちづくり構想」を策定し、夢洲における国際観光拠点形成に取り組む。



中之島エリアのブランド化

中之島4丁目地区は、2021年度開館予定の（仮称）大阪新美術館の整備を核とし、隣接する国立国際美術館、市立科学館との連携により、国内有数のミュージアムゾーンの形成を図るとともに、官民の協力のもと、文化芸術拠点としてのエリアのブランド化を進める。



大阪大学中之島アゴラ構想より



佐伯祐三（郵便配達夫）1928年

大阪大学が提案する「中之島アゴラ構想」も踏まえ、府・市、大阪大学及び経済団体等とともに「中之島アゴラ構想推進協議会」において、人材育成や、芸術・情報発信などのアート拠点としての機能検討を進める。

観光基盤や集客イベントのインパクトを活かした情報発信

大阪観光局の観光情報ポータルサイトをベースに、ICTを活用して、大阪の観光情報をタイムリーかつ一元的に発信。ターゲットに応じた戦略的プロモーションを徹底し、大阪のファン層拡大を図っていく。



関西広域での観光振興

関西広域連合や関経連等の経済団体、観光推進団体等の約60団体で「関西国際観光推進本部」を2016年3月に設立するなど好調なインバウンドを活かす動きが続く。関西広域連合が同年8月に改訂した「関西観光・文化振興計画」に沿って、一体的な取組みを進める。



無料Wi-Fi-「KANSAI Free Wi-Fi(Official)」

規制緩和、既存ストックを活かした民間プロジェクトの誘導

大阪にたくさんの人が集い、活動することを実感できる、これまでにない楽しいまちづくりプロジェクトの実現に向けて支障となる規制の緩和や制度見直しを行うほか、既存のストックを活かし民間活力を導入する。

・御堂筋地区の魅力向上

今後、人中心のみちへの道路空間再編の実現を図るとともに、規制緩和や補助制度などを活用し、官民で連携してブランド向上や上質なにぎわい創出に向けたイベントを展開することでさらなる魅力向上を図り、世界に誇るシンボリストリートをめざす。

御堂筋フェスティバル
モール化

大阪城公園駅前エリア
整備イメージ

旧第四師団司令部庁舎
整備イメージ



・大阪城公園の世界的観光拠点化

大阪が誇る歴史公園である大阪城公園において、民間活力により大阪城公園駅前エリアや旧第四師団司令部庁舎（もと大阪市立博物館）のリニューアルを図るなど、パークマネジメント事業を推進するとともに、大阪城東外濠でスイムを行う大阪城トライアスロン大会を開催するなど、公園の新たな魅力を創出する。

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録の推進



百舌鳥・古市古墳群

堺市、羽曳野市、藤井寺市の3市にまたがる巨大古墳群「百舌鳥・古市古墳群」について、2019年度の世界文化遺産登録実現をめざすとともに、登録後増加が見込まれる来訪者への対応の充実や、古墳群の魅力を発信する。

24時間おもてなし都市の推進

観光客が昼夜を問わずまちに魅力を感じ、安全で安心して旅行を楽しめる都市をめざし、Wi-Fi設置の拡充や宿泊施設、公共機関等の環境整備や観光案内機能の充実に取り組む。



(公財)大阪観光局

大阪が誇る文化力の創造・育成・活用



能勢人形浄瑠璃「鹿角座」

大阪の文化を保存・継承するとともに、大阪が誇る伝統芸能のビジター向けコンテンツや大阪の食を満喫できるコンテンツ等を創出するなどして、国内外に大阪の魅力を発信する。

また、国内外からアーティストをはじめ多くの人々が大阪に集い、交流する都市をめざす。

取組みの工程（主なもの）

(数字は年度)

→ 大阪市の博物館群（ミュージアム）の地方独立行政法人化(2019)

→ 都市魅力創造戦略の推進：来阪外国人旅行者目標数：1,300万人(2020)

→ 大阪新美術館開館(2021)

ラグビーW杯(2019)

東京オリンピック

関西ワールドマスターズゲームズ

日本万国博覧会（招致活動中）

・パラリンピック(2020)

(2021)

(2025)

〔重点的な取組み〕

内外から多様なプレーヤーが集い、活躍する場の創出

() 多様な人材が活躍できるオープンでチャレンジングな環境整備

【取組みの方向性】

内外から多様な人材を呼び込み、大阪での活躍を促進するために、特区等を活用したビジネス環境の整備や創業など新たなチャレンジを支援する取組みや出会い・交流の場の創出を積極的に進める。

知の拠点である大学や研究機関、経済界等とも連携し、高度人材などの育成や確保、大阪での定着に努めるとともに、ダイバーシティの考え方に立ち、女性や外国人高度専門人材など多様な人材が社会で活躍できる環境づくりに取り組む。

取組み例

ベンチャーエコシステム・イノベーションエコシステムの構築

起業家、研究者、大企業、ベンチャーキャピタル（VC）などをつなぐ「大阪イノベーションハブ（OIH）」の取組みなど府市民間による各種支援プログラムをさらに進めることにより、世界から人材、資金、情報を呼び込む「イノベーション・エコシステム」の構築をめざす。

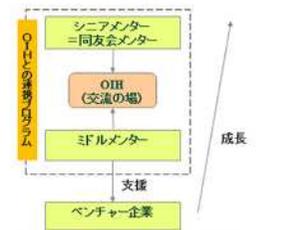
経済界との連携やオープンイノベーションの取組みの活発化など民間の動きも活かし、またベンチャーやイノベーションの創出を資金面から支える官民連携ファンドの活用を促進するなど資金供給の多様化を図ることにより、新たな成長エンジンとなりうる成長産業を創出する。

イノベーション・エコシステム（イメージ図）



関西経済同友会/メンタープログラム

イメージ



参加者	
シニアメンター	同友会より(20~30名程度)
ミドルメンター	OIHメンター4人を中心とした若手起業家
ベンチャー企業	上記以外にOIHメンター4人が厳選した若手起業家

国際イノベーション会議
Hack Osaka



OIHシードアクセラレーションプログラム
(創業期ベンチャー成長支援)



ベンチャー企業成長
プロジェクト「Booming！」



大学や経済界との連携による人材育成等

国内外の大学の誘致や外国大学、大阪大学や、大阪府立大学・大阪市立大学をはじめとする府内大学、企業との連携促進等により、国際競争を勝ち抜くハイエンド人材を育成する。

大学におけるPBL（Problem-Based Learning：課題解決型授業）やインターンシップなどの産学官連携プログラムの実施により、若者の就業観・職業観の養成や、実践的な人材育成を行う。

産学協働人材育成機構 AICE主催 PBLマッチング会



グローバル人材の育成や留学生などの外国人高度人材の活用

外国人高度専門人材やその家族に対する在留規制の緩和等の動きとあわせて、留学生の就職のサポート、大学や住宅事業者との連携による留学生の住まい確保等を進めるなど、留学生をはじめとする外国人の受入環境の整備を進め、優れた人材を世界から呼び込む。

公益財団法人大阪府国際交流財団HP

大阪大学のグローバル人材育成拠点「グローバルビレッジ」



小・中・高等学校における英語教育の充実やグローバルリーダーズハイスクール（GLHS）や国際関係学科等における国際感覚醸成の取組み、最先端のICT学習環境の活用による児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育等の取組みによりグローバル人材を多数輩出していく。



Osaka City Programming Camp 2016
(中学生向けプログラミング講座)

特区等を活用したビジネス環境の整備

関西圏国家戦略特区雇用労働相談センターによる海外からの進出企業への労働法制面からのサポートや大阪外国企業誘致センター（O-BIC）等の取組みにより、国内外のベンチャー企業やグローバル企業の設立・誘致、外国企業の大阪への進出等を促進する。



関西圏国家戦略特区雇用労働相談センター

女性や若者、アクティブシニアなど多様な人材の活躍

大阪労働局（ハローワーク）との連携体制を強化し、「OSAKAしごとフィールド」を軸に、女性、若者、高齢者、障がい者等が能力を発揮できる雇用機会の確保を進める。

OSAKAしごとフィールド



魅力向上・発信等により人材確保に課題を抱えている分野での女性や若者の活躍を推進する。

さらに、東京圏に集中している優秀な人材などの還流を促進し、府内企業の人材確保に取り組む。

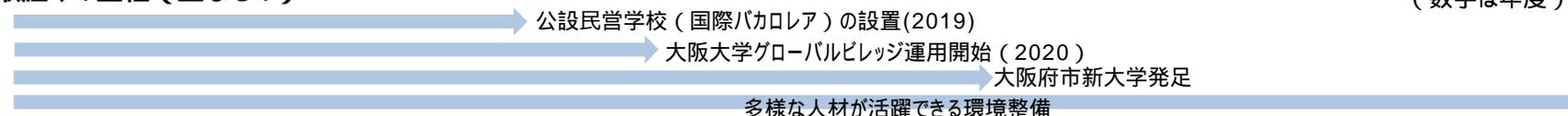
大阪の魅力的な情報と、おためし移住プログラムを提供し、UIターンを促進する「ボケない大阪移住プロジェクト」

東京圏の移住希望者に対し、大阪府内のIT企業への就職を促進する「大阪ブレインストーミング」



シニア就業促進センターと連携した経験や知識が豊富な高齢者の就業促進や、アクティブシニア普及推進によりシニアの生きがいと活力ある地域社会を実現する。

取組みの工程（主なもの）



() 民間活動促進の仕組みづくり

【取組みの方向性】

多様な人材の活躍を進めていくため、民間が自由に活動できる土壌が重要。大阪の「民都」としてのDNAを活かし、さらなる環境整備を進める。

規制改革等により民の活動を活発化させるとともに、公と民が手を携え、社会課題の解決を図りながら、住民サービスの提供と経済活性化の実現をめざす公民連携の強化を図る。

将来の公益庁創設などの国制度に踏み込んだ改革を視野に、「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」をめざした取組みを進める。



取組み例

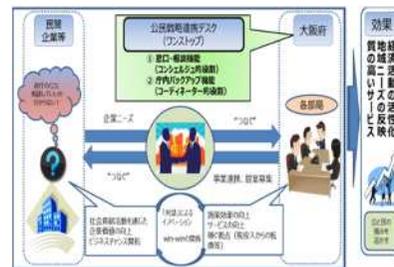
民間活動を促進するための規制改革

東京等よりも厳しい規制は全廃するという基本方針のもと、国への働きかけ、特区制度を活用した規制改革や税制措置等の総合的かつ集中的な実施、大阪府・大阪市における更なる規制緩和を行い、「世界で最もビジネスがしやすい環境」の実現をめざす。

公民連携の強化

「民でできるものは民へ」を基本に取り組んできた従来の公民連携の枠組みを前進させる。民間企業等と行政それぞれのニーズをマッチングし、「win-win」の関係による新たな公民連携のモデルを確立することで社会課題の解決を図りながら、きめ細かな住民サービスの提供と経済活性化を実現する。
 ・まちづくりにおけるコンセッションやBID、PPP/PFI、ネーミングライツなどの活用を進め、民間の資金とノウハウを活かしたまちづくりを実現する。

都道府県では全国初となる民間企業等の一元的窓口「公民戦略連携デスク」



(出典：行財政改革推進プラン(案))

住民が住み慣れた地域で安心して快適に住み続けられるよう、多様な主体が参画して課題解決型のまちづくりを目指す「スマートエイジング・シティ」



(左 出典：(独)都市再生機構ホームページ)

民間活力の導入によりリニューアルした天王寺公園エントランスエリア『てんしば』



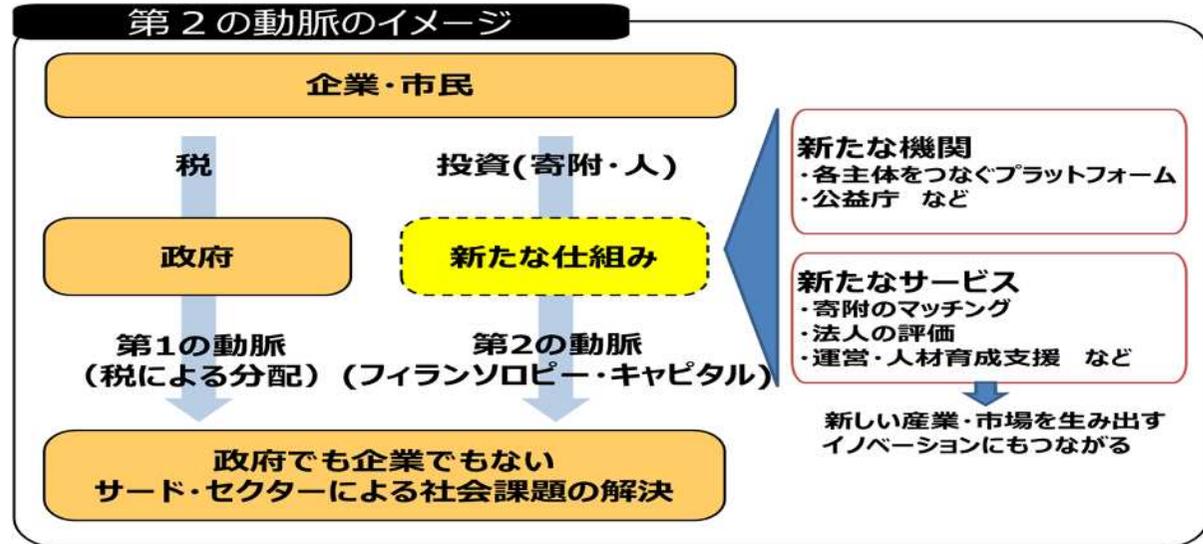
(出典：大阪市ホームページ)

フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化

市民・非営利セクターの役割が世界的にも大きくなり、寄附や社会的投資等を通じて社会課題の解決を図るフィランソロピーが世界の潮流になりつつある。

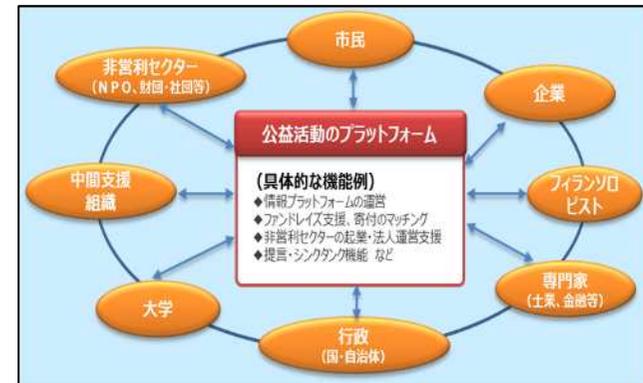
フィランソロピーの促進により第2の動脈（フィランソロピー・キャピタル）を大阪に取り込み、非営利セクターの活性化を通じて、大阪が「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」をめざす。

まずは行政や非営利セクター、大学、企業等が対等の立場で様々なテーマについて議論する「(仮称)大阪フィランソロピー会議」を設置。



検討すべき課題(案)	
連携強化	・非営利セクターと営利セクター・行政・市民・大学等を結ぶ公益活動のプラットフォームを構築
新たな資金の流れ	・寄附を増やす・寄附をつなげる仕組み、SIBなど新たな民への資金供給手法や仕組みを構築
活動の見える化	・活動を評価する仕組みを構築し、非営利セクターの活動等に見える化
活動の枠の拡大	・民間公益活動の促進に向けた官民連携の促進や規制改革の提案 ・全国組織の大阪支部誘致や公益庁の創設など
フィランソロピー都市の発信	・フィランソロピーの先進都市として世界にむけた発信

【民主導による公益活動のプラットフォームの検討イメージ】



取組みの工程（主なもの）

